

土岐川グリーンベルト通信 第14号

平成17年度「市之倉」での活動報告（その4）

ハイランド部会の活動

市之倉森作り部会の、ハイランドの森（仮称）では、活動初年度となる今年、様々な活動が行われてきました。

今年度前半は、現地の見学会から始まり、倒木の整備、子供達と一緒に活動した巣箱の設置、案内板、ベンチの設置などに取り組んできました。

後半の活動としては、カンアオイの調査、階段作り、樹林整備に関する講義、森のネーミング発表など、年間を通して積極的な森づくり活動が行われました。

今号では、ハイランドの森の今年度後半（10月～3月）の活動について紹介します。

案内板



ベンチ作り



ハイランドの森・今年度後半（10月～3月）の活動

実施日	活動内容
H17.10.1	市之倉小学校より三角点間のベンチ設置・山桜の植樹。
H17.10.25	ベンチの設置。
H17.10.27	神明宮入り口付近のカンアオイの調査
H17.11.12	市之倉森づくり部会、一斉樹林整備活動にて、ベンチの設置。
H17.11.19	三角点頂上付近の階段づくり
H17.12.3	倒木整備
H18.1.28	神明宮入口の階段づくり
H18.2.25	活動の披露会・樹林整備に関する講義
H18.3.18	森づくり会議、森のネーミング決定

階段作りを2箇所で行いました。

11月19日（土）に三角点に向かう坂道、1月28日（土）には森の入口として利用の多い神明宮の入口で、**間伐材を利用した階段づくりが行われました。**神明宮の入口には以前作られた階段があります。この階段はステップの高低差や幅が不揃いで歩きにくく、手すりも老朽化していることから改修を望む声が多く挙がっていた場所でした。

ここでは、階段の改修と併に段差のないスロープの計画もされました。スロープを計画するにあたって、ギフチョウの餌となるカンアオイが当地域に分布していることから、作業に先立って10月27日（木）には、有識者と併に**カンアオイに関する講義・調査**も行われました。

ハイランドの森（仮称）



以前作られた神明宮入口の階段



カンアオイの調査



カンアオイ



■ 活動の様子

11月19日(土) 三角点への階段作り



活動成果



1月28日(土) 神明宮入り口の階段作り



活動成果



活動の披露会と、「協働による里山づくり」に関する講義

2月25日(土)に、森づくりの今年度成果を歩いて確認する披露会と、多治見砂防国道事務所の所長が講師となり、「協働による里山づくり」と題した講義を行いました。

講義内容：多治見市・土岐市の森の変遷、市之倉地区の土砂災害防止工事の歴史、広がる都市化、樹林整備とその必要性など

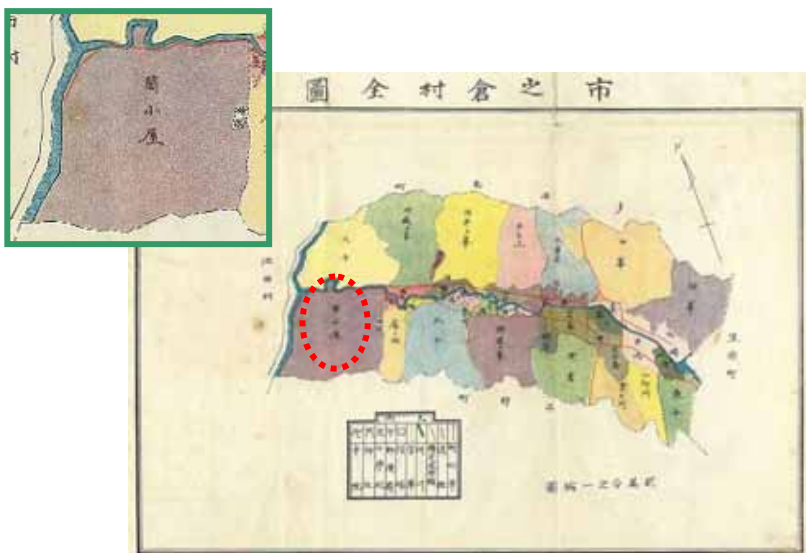
披露会



講義の様子



ハイランドの森の正式名称が決定しました。



3月18日(土)の森づくり会議にて、森の正式名称が決定しました。昭和4年発行の市之倉村史より、ハイランド地区の昔の名称が筒小屋と呼ばれていたことより、「**筒小屋の森**」と命名されました。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町 6-34

TEL : (0572)25-8024

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>